

# 新刊

太平洋戦争戦歴とポル・ポト虐殺の悲劇



# I

# 五十嵐勉

# 亜熱帯への召喚

## 第一部

# 亜細亜二千年紀

## 大長篇小説

## 第一部完成

### 1800枚

## I II III 三巻本

野間宏、加賀乙彦の系譜を継ぎ、挑戦するアジアを舞台にした大長篇

# 亜細亜二千年紀 アジアの全体小説



アジア文化社



各巻 396P 定価 1980円 (税込)

主人公風間敦志が、日本定住元ポル・ポト兵のカンボジア難民殺人裁判に関わることによって、虐殺・殺戮の生々しい真相に触れていく。同時に父親のガダルカナル、ニュージョージア島、コロンバンガラ島のソロモン戦からフィリピン決戦への太平洋戦争の激烈な流れが鮮やかに再現される。戦争と生の真実を対峙させる衝撃のテーマ。

# 新刊



戦略爆撃機 B 29  
ガダルカナル戦・サイパン陥落  
フィリピン戦捷一号作戦

## 五十嵐勉

# 亜細亞二千年紀

第一部

## 亜細亞二千年紀

太平洋戦争戦歴とカンボジア・ポルポト虐殺の悲劇

# 亜細亞二千年紀

I II III 三巻本

2024.9 月発売  
1800 枚

# 亜熱帯への召喚

## 亜細亞二千年紀

アジアを舞台にした大長編小説



II

## 五十嵐勉



アジア文化社



各巻 396P 定価 1980円 (税込)

アジア文化社

「全体小説」の壮大な試み

作家 三田誠広

一八〇〇枚の渾身の作品を読んで、深い感動を覚えています。これは野間宏が理念とした「全体小説」の継承であり、個人の体験と歴史とを融合させる果敢な試みだと思えます。すごい作品だった、というのが第一の感想です。

作者渾身の作品であることは、読む前からわかっていました。ですが、読み終えたあとは、確かにこの作品は大きなテーマに挑んだ壮大な試みであると痛感しました。

私たちはあの戦争と未だ繋がっている 作家 中上紀

私が本書を読み終わり、思い出した中上健次の文章がある。(戦後三十三年、(日本の) 文学は何をやってきたのだろう。(中略) 戦争や侵略を一度も加害者の側から書いた事はない。描こうとした事も一度もない。(中略) 父母らのやった事を暴くとは、同時に自分を暴く事でもある(中略)。文学作品において、父を暴くとは絶えず子の役割である。)

五十嵐氏は、「父親を暴く」、つまり「自分を暴く」ということをしようとした。(逃れることのできないもの)として、少しずつ形を変えて様々な人に存在したはずの戦争の「現実」を、文学として昇華させた。

近過去のディストピアの世界

文芸評論家 富岡幸一郎

この長大な作品を読んで、今、私の視界に広がるのはアジアの荒野ともいべき世界である。八〇年前、日本人は「大東亜共栄圏」というアジアへの支配(植民地解放というユートピアの旗のもと)と戦争によって、この荒野を屍で埋めた。作中の風間敦志の父親の一兵士としての悪夢は、我々日本人にとって近過去のまぎれもない現実であり、この現実の地獄絵は本作品で徹底的に描き出される文字通りのディストピアの世界である。人間が非人間的な地獄へと読者を突き落とす。しかし、これは「現実」にこの歴史の近過去で起こったことであり、本作が根底において我々に突きつけているのは、この「忘却」の罪の重さである。

## 注文申込受付中

直接お手元にお届けします。

文芸思潮の定期購読者にはIは特別贈呈とします。  
2冊送料とも4000円 3冊6000円

御注文は右の申込書に御記入の上、郵送・FAX また E-mail などでお申し込み下さい。右の申込書を葉書に貼付けて下さっても可能です。また直接お電話でもどうぞ。(料金は届いてからでけっこうです)

送り先 ■アジア文化社

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 7-15-13

TEL03-5706-7847 FAX03-5706-7848

E-mail bungeisc@asiawave.co.jp

H.P. http://www.asiawave.co.jp/bungeishichoo/

●郵便振替 00140-9-770331 ◆銀行振込/三菱東京UFJ銀行 自由が丘駅前支店/普通 0593969 名義アジア文化社

## 亜細亞二千年紀

### 第一部「亜熱帯への召喚」

## 注文申込書

ふりがな	申込	年	月	日
お名前				
御住所 〒				注冊数
				冊
TEL	支払い方法			①現金
著者署名希望	②郵便振替			
御希望の方は○をつけて下さい	③銀行振込			
	④切手			